

CATV・BS・CS BOOSTER
伝送周波数帯域
CATV下り：70～770MHz
BS・CS：1032～3224MHz
7BCLBW30

30dB型

3224MHz対応

BS・110°CSデジタル放送対応

- ご注意**
- CATV上り信号は通過しません。
 - 本器にケーブルモデムやケーブルモデム内蔵セットトップボックスを接続してCATVインターネットを利用することはできません。
 - 設置後は、スイッチや利得調整を操作しないでください。

- 付属品**
- ACアダプター(USBタイプ)(コード約1.5m)… 1個
 - 誤操作防止ラベル…………… 1枚

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

4K8K 4K8K放送を、より高画質で見るために、4K8K放送の伝送周波数帯域に対応した製品にマスプロ電工が表示しているマークです。

DIGITAL 各種デジタル放送を、より高品質で見るために、携帯電話や無線通信などの電波から影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

HS JEITA HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

取扱説明書

4K8K DIGITAL デジタル放送対応



7BCLBW30

規格表

項目	規格	
	CATV下り	BS・CS
伝送周波数帯域	70～770MHz	1032～3224MHz
定格出力レベル	95dBμV(74波) 97dBμV(57波)※ 99dBμV(32波)	100dBμV(50波)
利得	25～30dB	20～30dB
入力レベル調整ATT	0、⊖10dB切換	
利得調整範囲	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)
周波数特性	3dB以内	6dB以内
分岐出力端子結合量	⊖10dB	
雑音指数	6dB以下	
入・出カインピーダンス	75Ω(F型端子)	
VSWR	2以下	2.5以下
相互変調	IM2	⊖31dB以下
	IM3	⊖61dB以下
CTB	⊖60dB以下	—
CSO	⊖60dB以下	—
耐雷性	±15kV(1.2 / 50μs)のサージ電圧に耐えること	
使用温度範囲	⊖10～⊕50°C	
電源	DC5V 0.32A	
外観寸法	137(H)×89(W)×28(D)mm	
質量(重量)	約200g	

※ デジタル信号は⊖10dB運用

ACアダプター

項目	規格
1次電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	2.1W/4.4VA
出力電圧(電流)	DC5V(最大1A)
使用温度範囲	⊖10～⊕40°C
外観寸法	57(H)×70(W)×30(D)mm
質量(重量)	約80g

マスプロ電工

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談 **0570-091119**
ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

営業部 TEL名古屋(052)802-2244
受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- ⊘記号は、禁止の行為を示しています。
- Ⓢ記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

⊘	●ACアダプターはAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
⊘	●ブースターおよびACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
⊘	●ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。 ・押し入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。 ・布や布団でおおったり、包んだりする。
⊘	●ブースターおよびACアダプターのケースを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースターおよびACアダプターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。
⊘	●ブースターおよびACアダプターを、風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
⊘	●ブースターおよびACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないようにしてください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
Ⓢ	●濡れた手で、ACアダプターを抜きしないでください。感電の原因となります。
Ⓢ	●雷が鳴出したら、ブースターおよびACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
Ⓢ	●万一、ブースターおよびACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
Ⓢ	●万一、ブースターおよびACアダプターを落としたり、ケースを破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
Ⓢ	●万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音声が出ないなどの症状があるときも、テレビと共にACアダプターをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

警告

- ブースターおよびACアダプターは、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと一緒に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

注意

- ブースターおよびACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となる可能性があります。
- ブースターおよびACアダプターは、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となる可能性があります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けしないでください。
- ブースターおよびACアダプターは、温室やサニタールームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となる可能性があります。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置してください。

- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となる可能性があります。
- 旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災の原因となる可能性があります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となる可能性があります。

各部の名称と機能

ご注意

- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。
- 利得調整を操作するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。

前面

CATV・BS・CS 入力レベル調整ATT ($\ominus 10\text{dB}$)

- 入力レベルが低い場合、「 0dB 」にします。
- 出荷時は「 $\ominus 10\text{dB}$ 」になっています。

BS・CS利得調整

- $1032 \sim 3224\text{MHz}$ の出力レベルを $0 \sim 10\text{dB}$ の範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「 MIN. 」になっています。
- 右記「3.出力レベルの調整」をご覧ください。

端子面

入力端子

分岐出力端子

- 出力端子より $\ominus 10\text{dB}$ 低いレベルでテレビ信号が出力されます。
- 使用しないときは、メタルキャップを取外さないでください。

出力端子

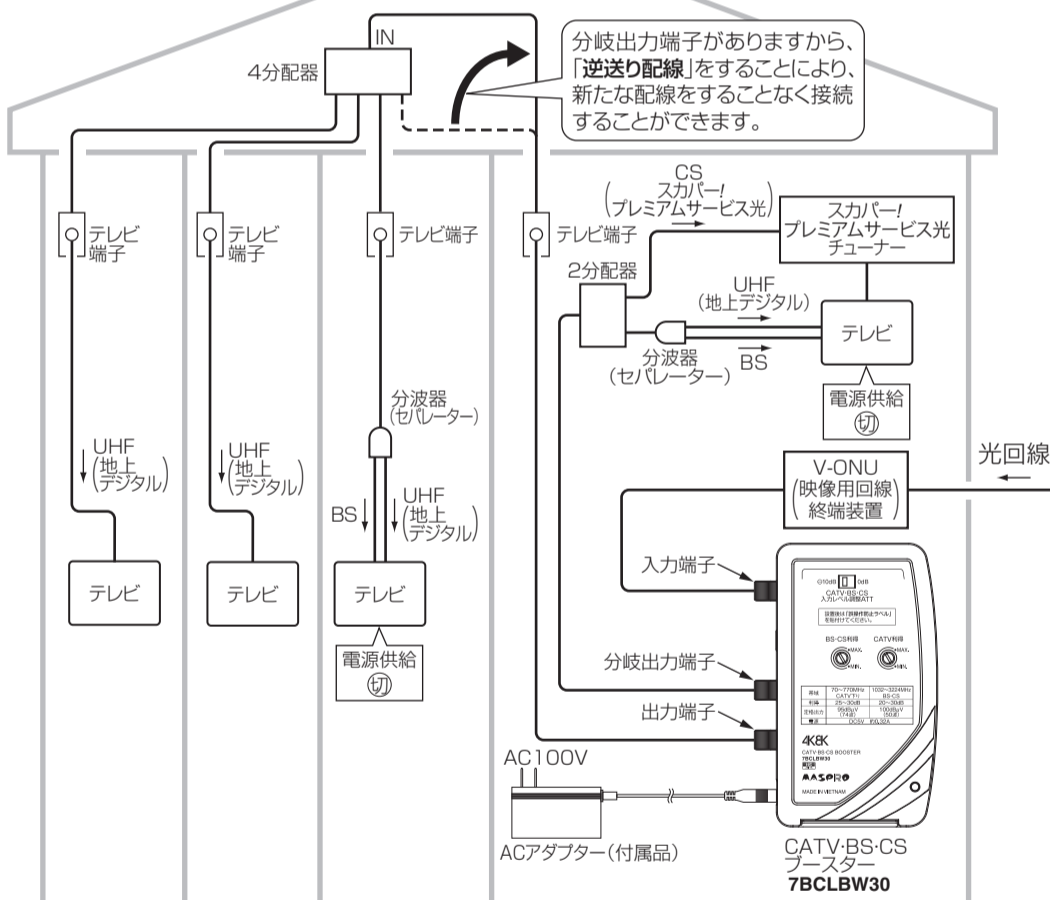
電源(USB)端子

- 付属のACアダプターを接続します。
- 右記「2.ACアダプターの接続」をご覧ください。

使用例

4K8K放送を伝送する場合、4K8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。

スカパー!プレミアムサービス光 受信 (逆送り配線)



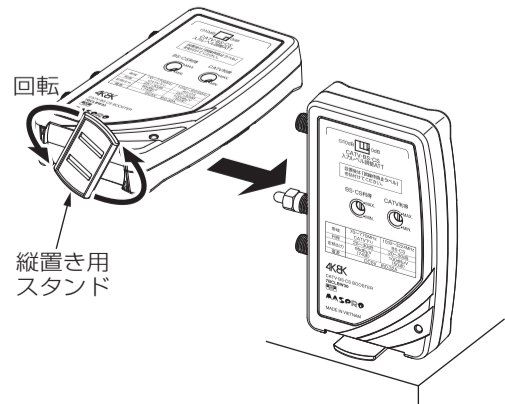
設置方法

ご注意

ブースターをラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースターを離してお使いください。

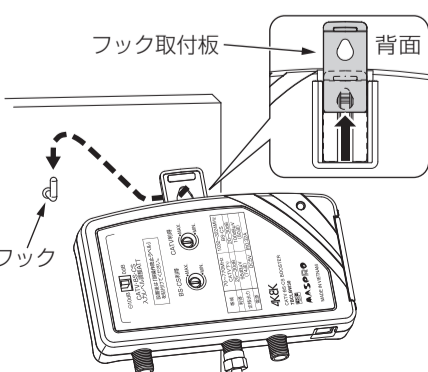
縦置き

縦置き用スタンドを 90° 回転させて、ブースターを設置します。



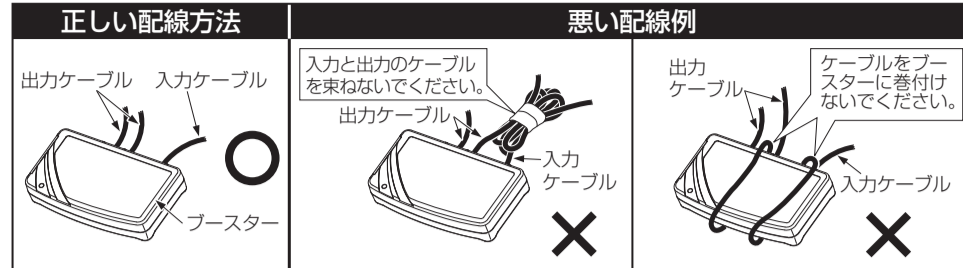
壁面などのフックに掛ける

背面のフック取付板を引き出し、壁面に取付けた市販のフックにフック取付板の \bigcirc 孔を引っ掛けます。



ブースターの配線について

●入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。



●入力端子・出力端子の接続は、確実に行ってください。

F型コネクターでケーブルを接続する場合、指定のトルクで締付けてください。

- 締付トルク
 $2\text{N}\cdot\text{m}$ ($21\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

調整方法

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、信号品質(CN比)の換算値を表しており、テレビ信号の強さを表すものではありません。

1. 入力レベルの確認

- ブースターは、過大な入力レベルで動作させておくと、故障の原因となります。使用する前に必ず確認してください。
- 出荷時はCATV・BS・CS入力レベル調整ATTが「 $\ominus 10\text{dB}$ 」になっています。
- BS・CSの入力レベルが $80\text{dB}\mu\text{V}$ 以下のときは、CATV・BS・CS入力レベル調整ATTを「 0dB 」にしてください。

入力レベルの確認方法

ブースターの入力端子に接続するケーブルを、レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーに接続して、CATV、BS・CSの各帯域の入力レベルを確認します。

CATV下り帯域 (74波伝送時)

入力レベルが $85\text{dB}\mu\text{V}$ 以下*(CATV・BS・CS入力レベル調整ATT「 $\ominus 10\text{dB}$ 」、CATV利得調整「 MIN. 」のとき)になっているか確認します。

- 入力レベルが $85\text{dB}\mu\text{V}$ を超えるときは、別売のアッテネーターを使用して、 $85\text{dB}\mu\text{V}$ 以下になるようにしてください。

*デジタル信号は $\ominus 10\text{dB}$ 運用

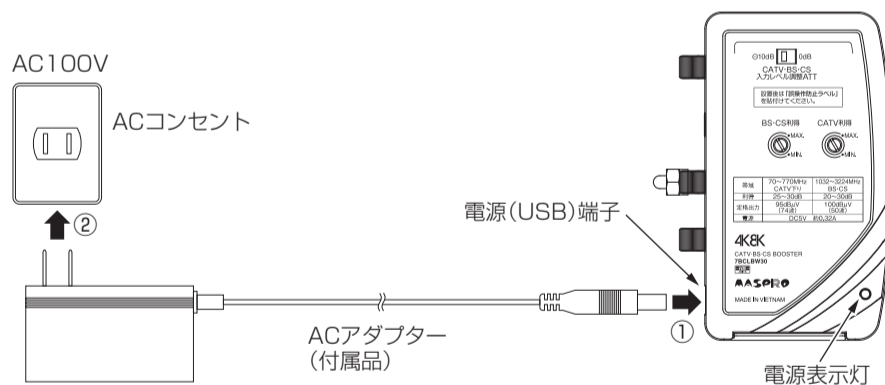
BS・CS帯域 (50波伝送時)

入力レベルが $90\text{dB}\mu\text{V}$ 以下(CATV・BS・CS入力レベル調整ATT「 10dB 」、BS・CS利得調整「 MIN. 」のとき)になっているか確認します。

- 入力レベルが $90\text{dB}\mu\text{V}$ を超えるときは、別売のアッテネーターを使用して、 $90\text{dB}\mu\text{V}$ 以下になるようにしてください。

2. ACアダプターの接続

- 1 ブースターの電源(USB)端子に、付属のACアダプターを接続します。
- 2 ACコンセントに、ACアダプターを差込みます。
- 3 電源表示灯が点灯したら、接続完了です。



3. 出力レベルの調整

出荷時は利得調整が「 MIN. 」になっています。

- 1 入力端子にV-ONUからのケーブルを接続します。
- 2 出力端子にレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーを接続します。
- 3 CATV、BS・CSの各帯域の出力レベルが、「規格表」の定格出力レベルになるように、利得調整で出力レベルを調整します。
- 4 出力レベルを調整したら、誤操作防止のため、付属の誤操作防止ラベルを、利得調整とCATV・BS・CS入力レベル調整ATTの上に貼付けます。

